

風のてのひら

～南高だより No. 130～

令和5年6月26日発行

発行責任者：長崎県立五島南高等学校
校長 西平 耕治

校長室の窓から

応援される幸せ、応援する幸せ

6月は「応援」の月でした。6月2日（金）から開催された県高総体は、観客や応援等の制限もなくなり、ようやく通常の形で実施されました。諫早市のトランスコスモスタジアムで行われた開会式では、陸上競技部の本岡郁弥君を旗手として、バレーボール部女子、バドミントン部（男女）、陸上競技部の皆さんが立派に行進してくれました。スタジアム3階の校長席から観覧しましたが、本校選手団が入場してきた時の期待と（不安？）、ドキドキ感を今でもはっきりと覚えています。

翌日から行われた各競技では、1日目にバドミントン男子、バレー女子を応援しました。バドミントン男子は団体戦で見事1回戦を突破してくれました。勝利した瞬間の、選手のほっとした表情が印象的でした。バレー女子は苦戦でしたが、後半にはスパイクを見事に決めるなど見せ場をつくってくれたと思います。私も会場で「南高ファイト！」と何度も叫びました。2日目にはバドミントン女子ダブルスを応援しました。各ペアとも最後まで諦めない立派な戦いを見せてくれました。2年生には負けた悔しさを来年につなげてほしいと思います。3日目は陸上競技を応援しました。男子200mに3名が出場し、2年生の本岡龍成君が2次予選に進出するなど、各自が力を尽くしました。そして男子5000m決勝では、川原琉人君が優勝。1500mと合わせ2冠という快挙を成し遂げてくれました。ラスト1周の力強いスパートで2位以下を更に引き離し、スタジアムは大きな拍手・歓声に包まれました。（川原君は、北九州大会でも見事2冠を達成し、インターハイへの出場が決定しています）

6月18日（日）には五島長崎国際トライアスロン大会が実に4年ぶりに開催され、本校からは部活動生を中心に計36名がボランティアとして参加しました。それぞれの持ち場で選手に補給物品を手渡すなどの業務にあたり、大会運営に欠かせない重要な役割を立派に果たしてくれました。私も競技を間近で見て、さわやかな感動を得る機会となりましたが、ボランティアに取り組む本校生にも声援を送りたい気持ちになりました。

このように「応援」「声援」の1か月を振り返って思うことは、応援は、「される側」はもちろん、「する側」も幸せにする力があるということでした。応援するためには、応援する対象（仲間・友達・家族等）がいなくてはならず、応援できるということは、自分のことのように喜び・悲しみ合える人が身近に存在していることの証明でもあります。

私は87名の南高生を応援できる幸せをもっと実感しなくてはならないと思いました。保護者の皆さま、地域の皆さまも、部活動や学校行事等で活躍する本校生、目立たないながらもコツコツと努力を重ねる本校生を引き続き応援していただき、応援する幸せ、応援できる幸せを実感していただくことを心から願っています。



～高総体～

総合開会式



バレーボール



バドミントン女子



バドミントン男子



陸上競技



オンラインによる応援



6月2日(金)の開会式から5日(月)の日程で、開催された県高総体では、3年生を中心として、見事な頑張りを見せてくれました。今年は、初めての取り組みとして、オンラインによる高総体の応援も実施し高総体に参加していない生徒も南高から熱い声援を送りました。

～進路ガイダンスセミナー～

6月8日(木)に進路ガイダンスセミナーを実施しました。多くの大学や短大、専門学校から講師をお招きし、各学校の説明をしていただきました。生徒が自分の進路を見つめ、考える良いきっかけになり、意欲も高まりました。

<7月のおもな行事>

- 7月 3日(月) 三者面談(3年進学)
- 10日(月)～三者面談(3年就職)
- 19日(水) レクリエーション大会
- 20日(木) 全校集会
- 21日(金)～31日(月) 夏季補習
(3年生、1年生は28日(金)まで)
- 25日(火)～27日(木)
インターンシップ(2年生)

ご相談やお気づきがありましたら

いつでもご連絡ください。

五島南高校 電話 0959-82-0132

FAX 0959-82-0185

五島南高校メールメイトに是非ご加入ください。以下のアドレスに空メールを送ってご登録ください。

gotominami-t@m-mate.com

